

新任医師のご紹介

脳神経外科部長、脊椎脊髄外科
救急・総合診療科長

まつもと

なおき

松本 直樹

脳神経外科専門医、脊髄外科認定医
認知症サポート医、緩和ケア研修会修了



こんにちは
松本 直樹(まつもと なおき)です。

皆さんの健康を支えるため、令和7年4月より、再び、南塚病院で診療する事にいたしました。

私は脳・脊髄と脊椎(首や腰の神経と骨)の病気を専門にしています。慢性的な(3ヶ月以上続く)頭痛、手足のしびれ、腰痛などでお困りの方は、ぜひご相談ください。

また、今後、南塚病院での救急医療にも力を入れていき、かかりつけの皆さんの病気への不安を取り除けるようにしていきたいと思えます。

ご高齢の方はたくさん薬を飲むことで副作用も出やすいので、急性期治療が終わった患者さんには、引き算の医療、緩和的な医療で、皆さんが無理なく、日常の不安を軽減し、安心して日々を過ごしていただけるよう、丁寧な診療を心がけます。

在宅医や介護施設と連携し、医療と介護が協力し、皆さんの日常を、途切れることなくサポートしますので、ぜひお気軽にご相談ください。

脳神経外科・脊椎脊髄外科／もの忘れ外来 担当日

	月	火	水	木	金	土
脳神経外科・脊椎脊髄外科 (総合診療・片頭痛)		○		○		
もの忘れ外来【予約制】		(午前)		(午後)		

脳神経外科

脳神経外科は脳、神経、脊椎・脊髄の病気を診療する科です。脳卒中や認知症を積極的に予防し、痛みやしびれを治療することで介護が不要な期間を延ばせるように治療を行っています。

認知症や脳卒中などにより通院が困難になったら、訪問診療も行っております。ご相談ください。(訪問診療)

● 物忘れ・認知症予防外来

要介護となる原因の第1位は認知症です。

認知症は、できていたことができなくなり、だんだんと自分で生活ができなくなる病気です。

認知症が進行すると、物忘れや言葉が出にくくなる、家事や仕事に支障が出るなど、日常生活に大きな影響を与えます。進行すると、家族のサポートが必要になります。

薬物療法と併せて、デイケアなどを利用し、活動的に生活することで認知症の進行を遅らせ、患者さんも介護者さんも、安心して生活していける方法を一緒に考えていきます。初期の認知症は、老化による物忘れと症状が似ていますので、心配であれば受診ください。採血検査、認知機能検査、画像検査を行い、総合的に診断して治療を行います。

● 片頭痛外来

片頭痛は、強い頭痛が繰り返し現れる病気です。吐き気や光・音に敏感になる症状を伴います。遺伝的要因やストレス、食事、睡眠などが引き金となることがあります。片頭痛は、仕事や学校、日常生活に支障をきたすことがあります。特に発作時は寝込んでしまうこともあり、生活の質を低下させます。

次のような方は片頭痛の可能性が 있습니다。我慢せずにご相談ください。

- ・若い頃より頭痛がある
- ・血縁者に片頭痛さんがいる
- ・仕事や勉強もできないほどの痛み
- ・歩いたり階段を登ると頭痛が強くなる
- ・胃のむかつき 吐き気がある
- ・テレビや蛍光灯が眩しく感じる
- ・周囲の音がうるさく感じる

予防には

- ・睡眠時間を規則正しく保つ
 - ・ストレスを避ける
 - ・特定の食物や飲料(チョコレート、アルコールなど)を避ける
 - ・適度な運動とリラックス法(ヨガや瞑想など)を実践
- などがあります。

抗 CGRP 抗体注射の登場により片頭痛は予防しやすくなりました。市販の頭痛薬の飲み過ぎは薬物乱用性頭痛を合併し、治療が困難になりますので、早めに相談ください。

頭痛のつらさは他人に理解してもらいにくく、片頭痛さんの多くが頭痛がなければ、もっと良い人生を送れると考えています。抗 CGRP 抗体注射の問題は値段ですが、値段以上に『「片頭痛があたりまえ」じゃない日常』が訪れることが何より大切だと考えます。

ご加入の健康保険組合や共済組合によっては、「付加給制度」や「一部負担還元金」を設けている場合があります。これは、1ヶ月の自己負担金額の上限を超えた医療費がご加入の組合から支給される制度です。こちらの制度につきましては、加入されている健康保険組合や共済組合にお問い合わせください。

● 脊椎(痛み・しびれ)外来

首や腰の慢性的な痛み、手足のしびれは、生活の質を低下させて、脳機能や運動機能の低下につながります。変形性脊椎症が原因となっていることが多いです。

変形性脊椎症は、背骨(脊椎)や靭帯の変形で神経を圧迫してしまう病気です。主に加齢によるものですが、姿勢の悪さや過度な負荷も影響を与えることがあります。背中や腰、首に痛みを感じることもあり、長時間の立ち仕事や座り仕事がつらくなることがあります。進行すると、神経が圧迫されてしびれや歩行困難になることもあります。

予防には

- ・正しい姿勢を保つ
 - ・重いものを持ち上げる時に注意を払う
 - ・適度な運動で背中や腹筋を鍛える
- ことが大切です。

治療は、薬物療法(痛み止めや消炎剤)、理学療法(ストレッチやマッサージ)、場合によっては手術が必要になることもあります。早期に治療を始めることで、進行を防ぐことができます。